

②自己紹介(中学校)

『上手な自己紹介』

1. 展開案

避	学習活動	教師の働きかけ	留意すること
わかる	1. 本時のめあてを知る。	<p>○新しいクラスが始まる時や新しい仲間と出会ったときにすることは何でしょうか。</p> <p>○自己紹介は、自分を知ってもらふことや、新しい仲間との関係づくりのために行います。今日は、どのように自己紹介をすればよいか考えて、練習をします。</p>	<p>・「上手な自己紹介」のスキルを身に付けることで、人間関係が一層うまくいくことに気付かせる。</p>
上手な自己紹介を練習しよう			
	<p>2. モデリングを見て、自己紹介のポイントを知る。</p> <p><b>【モデリング】</b></p> <p>I うつむいて、小さな声で</p> <p>II ポイントを意識して</p>	<p>○授業を進める上での約束を確認します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恥ずかしがらない</li> <li>・冷やかさない</li> <li>・よいところを見つける</li> </ul> </div> <p>○これから先生が2つの自己紹介の仕方を実際にやってみます。どちらの自己紹介のどんなところがよかったか、考えながら見てください。（「自己紹介をする役」の人）に注目しましょう。</p> <p>○これから行うのは、新学期、新しいクラスになり、みんなの前で自己紹介をする場面です。</p> <p>○2つの自己紹介の仕方どちらがよかったですか。</p> <p>○2つ目の自己紹介の仕方のどんなところがよかったでしょうか。</p> <p>○自己紹介のポイントをまとめましょう。相手の顔を見て、聞こえる声で、表情を加えて(笑顔で)自己紹介をするといいですね。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【自己紹介のポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の顔を見て</li> <li>・聞こえる声で</li> <li>・表情を加えて</li> </ul> </div>	<p>・約束が必要な理由を添えて説明する。</p> <p>・モデリングは、ポイントが分かりやすくなるように演じる。</p> <p><b>※モデリングシナリオ参照</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・悪い点に注目するのではなく、よい点に注目させる。</li> <li>・提示するポイント以外で、生徒から気付きが出たら、それらも必要であることを伝える。</li> <li>・イメージがつかみにくいポイントは分かりやすく例示して伝える。</li> </ul>
やってみる	3. 自己紹介のポイントに気を付けながら練習①をする。	○自己紹介の練習をします。まず、練習①は『自己紹介ゲーム』を通して、自己紹介のポイントの大切さを体験してみます。	<p>・楽しく取り組ませ、ゲームの中で感じた気持ちを交流することで、練習への動機付けを図る。</p>

『自己紹介ゲーム』

- ・30秒間、自由に歩き回り、出会った人に名前を自己紹介する。
- ・1回目は相手を見ずに、小さな声で、笑顔を見せずに自分の名前を言う。
- ・2回目は相手を見て、聞こえる声で、自分の名前を言う。  
できたら2人で握手をして、「よろしくね」という。

4. 全体で話し合い、練習①を振り返る。

- 1回目と2回目、それぞれどんな気持ちがあったか、聞いてみましょう。体験してどんな気持ちになりましたか。
- ふり返しシートに自己評価を記入しましょう。

5. 自己紹介で使えるような内容を考える。

- 実際の練習の前に、自己紹介で紹介できそうな内容を考えましょう。ワークシートを準備して下さい。今日は、学級で自己紹介をする場面を考えます。5分間でワークシートの空欄を記入しましょう。
- 記入したワークシートの中から、30秒～1分程度で話せる内容を選びましょう。全部を紹介しなくてもいいです。ワークシートの始めの言葉と吹きだしの中と、みんなへのメッセージを話せば、自己紹介になります。
- 1分間、各自で練習をしてください。

6. 自己紹介のポイントに気を付けながら、練習②をする。

- では、練習の前に、役割を分担します。始めに役割を決めますが、役割は交代してすべて体験します。
- 「自己紹介をする役」の人は席を立って練習します。「観察役」の人は、「自己紹介をする役」の人を見て、3つのポイントができているかどうかを観察してください。もし、ポイント以外にもよいところがあったら、覚えておいてください。

7. グループで話し合い、練習②を振り返る。

- 練習②を振り返りましょう。「観察役」の2人は3つのポイントができていたか、どのようなところがよかったか、具体的に振り返ってください。3つのポイント以外にもよいところがあったら、伝えてください。
- ふり返しシートに自己評価を記入しましょう。
- 3回目の練習で、特に気を付けたいポイントを決めます。ふり返しシートを見て記入しましょう。2回目の練習で全部できていた人は5番目に新しくポイントを作ってもいいです。

- ・『自己紹介ゲーム』の2回目は練習①になることを伝えて、ポイントを意識して行わせる。
- ・ポイントを使って自己紹介をされるとどのような気持ちになるかを押さえる。

- ・ふり返しシートを配布し、記入させ、よかった点を振り返らせる。

※ふり返しシート参照

- ・ワークシートを示し、取り組ませる。

※ワークシート参照

- ・ふり返しシートとワークシートは両面印刷をしておくとうい。
- ・記入できないところは空欄でもよい。

- ・「自己紹介をする役」「観察役(3人)」の役割を分担させる。
- ・「役は時計回りでまわす。」など、指示しておくとうスムーズに練習できる。
- ・練習でポイントをつかんで自己紹介をすることができている生徒をその都度褒める。

- ・「観察役」には3つのポイント以外にもよいと思ったことを伝えさせる。

- ・最後の練習では、生徒自身がどのポイントを意識して練習に取り組むかを明確にさせ、練習への動機付けを図る。

	<p>8. 自己紹介のポイントに気を付けながら、練習③をする。</p> <p>9. グループで話し合い、練習③を振り返る。</p>	<p>○では、練習③を行います。今度は、練習②で使わなかった内容を話したり、同じ内容でも、付け加えて詳しく伝えたりしてください。</p> <p>○練習③を振り返りましょう。「観察役」の2人は3つのポイントができていたか、どんなところがよかったか、具体的に振り返ってください。ポイント以外でもよいところがあったら、伝えてください。</p> <p>○ふり返しシートに自己評価を記入しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習でポイントをつかんで自己紹介をすることができている生徒はその都度褒める。</li> </ul>
<p>ふりかえる</p>	<p>10. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日の学習を振り返ります。ふり返しシートに記入しましょう。</p> <p>○自己紹介は、相手が誰なのか、どんな場面なのかによって、アレンジが必要となります。しかし、今日学んだ3つのポイントは変わりません。また、その3つのポイントは、人に自分の意見を伝えるときにも有効です。上手な自己紹介ができると、友達に自分のことを分かってもらえるし、友達のいいところも知ることができます。自分のことを伝えて、友達の輪が広がるといいですね。</p> <p>○これからしばらくチャレンジ週間を行います。朝の会、帰りの会を用いて、みんなの前で自己紹介をしてもらいます。また、自分の考えを話した場面を振り返る時間を設定します。普段の生活の中で、生かされたかどうか確認しながら、人間関係を築く力を向上させましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート、ふり返しシートを回収する。</li> <li>自己紹介のスキルの意義を押さえ、定着化の取組(チャレンジ週間)に向けて、生徒の意欲を高める言葉かけをする。</li> <li>チャレンジ週間の説明をする。</li> </ul> <p>※チャレンジシート参照</p>

# モデリングシナリオ

\*モデリングは教師が行う。

## 場面設定

新学期、新しいクラスになり、みんなの前で自己紹介をする。

はじめまして、佐賀花子です。去年は〇年〇組でした。(〇〇小学校から来ました。)  
私が得意なことはダンスです。(小学校の頃から音楽に合わせて体を動かすことが大好きです。)  
私の好きな食べ物はチョコレートです。(パンもケーキもクッキーも、キャンディーも、チョコレート味を選びます。)  
将来はお菓子を作るパティシエになりたいと考えています。(土日は家でよくお菓子を作ります。皆さん、時々うちに遊びに来て、試食に協力してください。)  
1年間楽しく過ごしたいと思いますので、よろしくお願いします。

\*シナリオは参考程度とし、教師が自分の紹介をすることもできる。

\*網掛けの部分は省略してもよい。

## モデリングⅠ うつ向いて、小さな声で自己紹介をする。

みんなの方を見ないで話す。  
ぼそぼそと聞こえないように話す。  
嫌そうな表情で話す。

## モデリングⅡ ポイントを意識して自己紹介をする。

みんなの方を見て話す。  
みんなに聞こえるようなはっきりした声で話す。  
笑顔で話す。

## どちらの自己紹介がよかった？

予想される反応：2つ目、後の方など

## どんなところがよかった？

予想される反応：みんなの顔を見ていた、聞こえる声だった、笑顔だった など

### 3. 活用場面のアレンジ例

「②自己紹介」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

- ・クラス替えがあったとき
- ・担任の先生が代わったとき
- ・委員会活動(クラブ活動)の始まり
- ・校外学習で地域の方と交流するとき
- ・グループ学習で初めて一緒になったとき
- ・他の学校との交流会をするとき
- ・ゲストティーチャーに会ったとき
- ・授業の中で自分の考えを話すとき
- ・休み時間に自分のことや考えていることを話すとき
- ・就職や進学面接試験
- ・職場体験 など